

調 査 研 究 活 動 実 績

氏 名 武石 利彦

令和 6 年度の政務調査研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

1. 中山間対策について

中山間地域における高齢者の見守り、買い物弱者対策、移動手段の確保などについて聞き取り調査を行なった。集落活動センターの取り組みにおける成果と課題を探るとともに、事業の安定継続に向けた課題の調査も行なった。

活動家の高齢化が進行しているので若手活動家の参入の可能性を探った。

農業分野においても集落協定による地域協働の取り組みがなされているが、ここでも高齢化が進んでいる。集落協定を法人化することで若手の参入を測っている事例もあり、横展開を図る取り組みを調査した。

また人口減少に歯止めをかけることも重要であるが、人口減少が進んでも住民の利便性が低下することが無いよう、賢く縮む「スマートシュリンク」に取り組むよう県に提言を行った。

2. 高齢者のフレイル予防の取り組み

高齢者のフレイル予防の取り組みについて社会福祉法人から現状と課題について聞き取り調査を行なった。施設における取り組みだけではなく、普段の日常生活における工夫も予防につながる面があり、このような取り組みを今後につなげていく。

また孤独死が発生していることから、高齢者の見守り体制の構築が急がれる。

IT の活用も視野に高齢者の見守り体制の構築に取り組む。

3. 有機農業の推進に向けた調査研究

県内で有機農業に取り組む生産者の団体の取り組みを支援するとともに成果や課題について引き続き調査研究を行った。少量多品種の有機野菜の希少価値を高めるような販路の開拓、そのための知名度アップに取り組む活動を支援した。食の安全性への関心が高まっている中、中山間地域で付加価値の高い有機野菜づくりの取り組みを広げることは、移住者や若手の農業参入も期待できることから、地域の活性化にもつながるものであると考える。

都市部の高級レストランなど高価格帯での販路拡大や台湾などへの輸出に向けての取り組みも支援した。

4. 動物愛護についての調査研究

保護犬、保護猫の増加が地域社会の課題になっている中、ボランティアの保護活動について調査研究を行なった。動物愛護センターの早期完成が望まれるなか、郡部における獣医師の協力体制の構築に取り組んだ。また捕獲器の確保に努めるとともに、TNR 活動を支援し地域猫活動の普及啓発に取り組んだ。

5. 海外展開に向けての調査研究

県立のいち動物園と台湾の台北動物園の協定締結に向けての取り組みを行なった。園の充実や安定的持続を図るためには海外の動物園との協働が重要であるため、協定締結に向けた取り組みを行なった。また県立牧野植物園とハワイのフォスター植物園との交流に向けた取り組みを行なった。職員のモチベーション向上、スキルアップにも繋がることから活動を展開した。ハワイにも高知県に縁のある方々が多くハワイに高知県人会を設立してもらい、人的交流や地産外商の可能性を探った。

6. 観光振興に向けての調査研究

本県の観光振興に向けて宿泊施設の充実強化について調査研究を行なった。高知県内に県外資本のホテルが相次いで進出する動きの中で、地元旅館ホテル関係者から聞き取りを行なった。従業員の働きやすい環境づくりや地元食材の活用など経営の充実強化、地消地産の取り組みが広がるよう取り組んだ。

7. 公共交通の活性化に向けた調査研究

人口が集中する県都高知市および過疎化が進行する中山間地域において公共交通の充実、機能強化は急務である。とさでん交通や中山間地域の公共交通事業者の経営状況や課題について聞き取り調査を行い、課題解決に向けて県や市町村に提言を行なった。今後は運転手の確保といった課題にも取り組まねばならない。

以上